

令和 8 年度 第 1 回総合計画等推進市民委員会 議事録

日 時：令和 8 年 6 月 25 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 2 時

場 所：八戸市庁本館 3 階 第三委員会室

出席委員：堤 静子 委員長、宮腰 直幸 副委員長、織笠 琢磨 委員、重 浩一郎 委員、
田頭 初美 委員、中村 一明 委員、松本 紀信 委員、峯 敬子 委員（計 8 名）

事 務 局：酒川総合政策部長、高森総合政策部次長、小笠原政策推進課長、番沢 GL、小笠原主幹、
磯谷主査、宮崎主査

【1. 開会】

○司会（番沢 GL）

本日は、お忙しいところ御出席いただきましてありがとうございます。朝方の地震の方、大丈夫でしたでしょうか。余震もまだ続いており心配なところではございますが、始めさせていただきます。ただいまから「令和 8 年度第 1 回八戸市総合計画等推進市民委員会」を開催いたします。本日の会議でございますが、委員 10 名中 8 名に御出席いただいておりますので、「八戸市総合計画等推進市民委員会規則」第 5 条第 2 項により、会議が成立することをご報告いたします。それでは、本日の議事は、お手元の次第にそって進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【2. 委嘱状の交付】

○司会（番沢 GL）

最初に、今年度から新たに参加される委員の方をご紹介します。八戸金融団より、根城委員に代わりまして、松本紀信委員となります。それでは、酒川総合政策部長より、委嘱状を交付いたします。

（松本委員へ委嘱状を交付）

松本様、今年度からどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、改めまして委員の皆様のご紹介を行います。お名前を呼ばれた方は、その場でご起立をお願いいたします。

まずは、委員長 堤静子様、副委員長 宮腰直幸様、織笠琢磨様、重浩一郎様、田頭初美様、中村一明様、松本紀信様、峯敬子様。

また、本日はご欠席の連絡をいただいておりますが、小笠原圭一様、松橋満幸様の、以上 10 名の委員となります。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、委員を代表して、堤委員長から一言ご挨拶をお願いいたします。

○堤委員長

こんにちは。皆様、朝から本当に地震で色々大変なお集まりいただきましてありがとうございます。

先ほどもご紹介されたように、新たに根城委員に代わりまして松本委員と一緒に加わり、令和8年度の第1回、無事開催されてよかったと思っております。

結構堅苦しいテーマでの審議になるとおっしゃっていると思いますが、ざっくばらんに皆様で総合計画等について思ったように言っていただければ良いのかなと思います。

昨年度から引き続きの皆様もよろしくお願いします。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○司会（番沢 GL）

ありがとうございました。

続きまして、事務局の職員を紹介いたします。

総合政策部長の酒川高志です。総合政策部次長兼市民連携推進課長の高森大輔です。政策推進課長の小笠原慶信です。政策推進課主幹の小笠原孝太です。政策推進課主査の磯谷悠太です。政策推進課主査の宮崎拓也です。私は政策推進課参事の番沢啓司です。

以上の事務局員で対応してまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、酒川部長より御挨拶を申し上げます。部長、よろしくお願いいたします。

○酒川部長

皆様こんにちは。総合政策部長の酒川と申します。

本日は朝方、地震があったにもかかわらず開催させていただくということで、お越しいただきありがとうございます。

それでは、今年度の市民委員会のスタートにあたり、一言御挨拶を申し上げます。

皆様には日頃から市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度から継続して御審議いただいております委員の皆様には、これまで多くの貴重な御意見をいただきまして、市政の推進にお力添えをいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

また、松本様におかれましては、今年度から委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。次回会議から始まります審議におきましても、率直な御意見をお聞かせいただければと思います。

さて、今年度の市民委員会においては、昨年度よりも回数は軽くなりますが、新たに現在策定中の次期総合計画関係に係る御意見をいただく内容など、本日を含めて全4回の開催を予定しておるところでございます。

市長も常日頃から、対話と共感を大切にと申し上げている通り、委員の皆様からいただく御意見や御質問が、正に、より良い八戸市の未来を切り開いていくうえで、何より重要なものであると考えておりますので、限られた時間での御審議ではございますが、今年度も御協力をお願い申し上げます。以上、簡単ではありますが、私からの挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

○司会（番沢 GL）

ありがとうございました。なお、高森次長については別件の用務のため、ここで退席いたします。

【3. 資料確認】

○司会（番沢 GL）

それでは、改めまして、お手元の資料を確認していただきたいと存じます。本日の会議資料として、お手元に

- ・次第
 - ・出席者名簿
 - ・席図
 - ・資料1「八戸市総合計画等推進市民委員会の運営の基本的事項（案）」
 - ・資料2「八戸市総合計画等推進市民委員会規則」
 - ・資料3「令和8年度八戸市総合計画等推進市民委員会の運営方法等について」
- を御用意しております。

過不足等がございましたら、事務局までお申し付けください。皆様よろしいでしょうか。それでは議事に入りたいと存じます。堤委員長よりお願いいたします。

【4. 審議案件】

○堤委員長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。今年度第1回目の会議となる本日は、今年度の会議の運営方法について審議することになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは「市民委員会運営の基本的事項」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（宮崎主査）

本年度、八戸市総合計画等推進市民委員会を担当させていただきます宮崎と申します。改めて、よろしくお願いいたします。

本日の審議事項といたしまして、まず、「市民委員会の運営の基本的事項」についての御説明をさせていただきます。資料1を御覧ください。「八戸市総合計画等推進市民委員会の運営の基本的事項（案）」といたしまして、以下の4点をお示ししております。1点目、会議は公開といたします。2点目、傍聴者は会議で発言することはできないことといたします。3点目、会議における発言は、議事録として記録させていただきます。4点目、議事録はホームページ上で公開をさせていただきます。以上です。よろしくお願いいたします。

○堤委員長

ただいま、事務局より説明のあった当委員会運営に当たっての基本的事項について、御意見・御質問等はありませんか。

では、意見はないようですので、続いて、「令和8年度会議の運営方法」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（宮崎主査）

それでは、事務局より、「令和8年度八戸市総合計画等推進市民委員会の運営方法等」について御説明いたします。資料3のスライド資料を御覧いただき、今年度御審議いただきます概要等について、簡単に御説明させていただきます。

1ページ目をご覧ください。継続委員の皆様には、ご存じの内容も多いかと思いますが、改めてご説明させていただきます。説明事項といたしましては、改めて本委員会の概要と昨年度の変更点、会議開催の流れといった全体説明後、審議対象となる計画や審議の概要を御説明させてい

いただきます。

資料の2ページ目をご覧ください。「①総合計画等推進市民委員会の概要」ということでございまして、市が進める施策に対する評価・効果検証を、効果的かつ適切に行ってまいりますために、附属機関として「八戸市総合計画等推進市民委員会」を設置しております。専門的な知見や経験を有する外部有識者の皆様を中心に10名で構成させていただきまして、2年間の任期でお務めいただくことになっており、今年度は任期2年目の年となっております。

令和8年度の審議内容につきましては、国の交付金である第二世代交付金の活用事業に対する効果検証、「次期八戸市総合計画」に対する御意見、最後に「はちのへ創生総合戦略」の進捗管理及び効果検証について御審議いただくことになっております。なお、この後にご説明いたしますが、今年度から市長の政策公約に対する評価、第7次八戸総合計画に関する効果検証はございません。

続いて、次のページに移りまして、3ページ目、「②昨年度の審議内容との変更点」でございしますが、今年度は今回を含めて全4回を予定しております。第7次総合計画は今年度をもって満了となることから、現在、別の附属機関である「八戸市総合計画策定委員会」で次期総合計画の策定作業を行っており、策定委員会の方でこれまでの評価方法の考え方の見直し等を含めた作業を行っている最中でございます。これまで第7次総合計画に位置づく各施策の進捗状況や個別取組に関するご意見をいただき、次年度における同計画の推進を図って参りましたが、今年度は計画切り替わりの年度となります。そのため、市民委員会側としての今年度の総合計画に対する内容といたしましては、次期総合計画の策定目途が立ってくるタイミングである秋頃となりますが、次期総合計画の考えに基づく、次年度事業に関する御意見をいただくことを予定しております。

また、公約事業の審議についてのところですが、熊谷市長2期目に関して、外部評価を行わないこととしております。理由といたしましては、次期総合計画の進捗管理では、取組回数などの「活動量(アウトプット)」の管理にとどまらず、その取組の結果として市民生活にどのような変化が生じ、市民実感(アウトカム)としてどう表れているかを重視することとしています。このため、毎年度実施する市民アンケートによる市民満足度を進捗管理の軸に据え、アウトプット中心からアウトカムを重視した評価へと転換する予定です。そして、次期総合計画内に公約の考え方を反映いたします。そのため、公約に関する取組成果は、総合計画の進捗管理と一体的に評価し、総合計画の推進による市民生活の変化や市民実感として把握する予定です。よって、次期総合計画でも引き続き市民委員会での評価対象とさせていただきますが、今後は公約そのものに特出した評価を行わないこととなります。

なお、公約に基づく個々の取組状況については、政策推進課で取りまとめた上で公表する形に切り替えることを考えております。つまり、スライドの下部に記載しておりますが、市長の政策公約に対する評価については、次期総合計画と一体的な進捗管理を見据えており、市長2期目の取組が本格的に着手される今年度から、本委員会では公約の取組そのものの評価は行いません。しかしながら、取組状況については、引き続き政策推進課で管理し、公表してまいります。

なお、これにより、資料2「八戸市総合計画等推進市民委員会規則」に戻りますが、第2条職務の2行目にて、八戸市総合計画の推進に関し必要な事項についての調査及び検討をし、以降に、以前まで記載のあった「市長が掲げる政策公約の取組状況について評価する」との記載を削除しております。

資料3に戻りまして、4ページ、「③会議開催の流れ」でございしますが、今年度は4回の開催を予定しておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。会議開催までの流れといたしまして、政策推進課の方から資料を送りますとともに、事前質問票というものを送らせていただきます。こちらの方に疑問点や意見等を御記載いただきまして、メール等で御提出いただければと思います。お寄せいただいた質問等については当日に御説明という形で共有させていただきながら回答

いたします。

続いて、5 ページ目「第二世代交付金の概要」について簡単にご説明いたします。この「第二世代交付金」の概要ですが、昨年度まで「デジタル田園都市国家構想交付金」という名称で皆様に効果検証を行っていただいていたものとなります。地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援する目的で創設された、国の交付金でございます。第二世代交付金では、以前の地方創生の交付金である「デジ田交付金」とは異なり、ソフト事業とハード事業を1つの実施計画で申請できることとなりました。

また、当市がこの交付金を活用した例といたしましては、産学官連携による人材育成と雇用創出、魅力発信を通じて、若年層の転出超過や人口減少、地元企業の人手不足等の課題解決を図る「産学官連携による八戸未来創造事業」や、サンフェス HACHINOHE や八戸企業魅力発信×発見フェアの開催、超帰省®応援事業などを通じて、学生や若者等に対して地元産業の魅力を発信する機会を創出する「未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業」などがございます。

同交付金は、事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体の参画が必須とされており、効果検証及び評価結果・改善方策の公表を行う必要があることから、効果検証を実施するものでございます。なお、今年度からは第二世代交付金から名称変更となり、「地域未来交付金」という名称となりましたが、今回審議を行うのは昨年度の事業に関する内容でございますので、第二世代交付金として進めさせていただきたいと思っております。以上で第二世代交付金に係る説明は終了いたします。

続いて、6 ページ目の「次期総合計画の概要」でございますが、計画構造といたしまして、市の将来都市像である基本構想、政策・施策の方向性である基本計画、事務事業の単年度戦略の構造となっており、各期間については、基本構想が8年間、基本計画が前期4年間、後期4年間、単年度戦略が1年間と策定委員会で決定されたところです。なお、単年度戦略については毎年度の見直しを行うほか、計画期間中に社会情勢が大きく変化した場合は、基本計画の見直しも検討するものでございます。次期総合計画の評価については先ほどご説明差し上げたとおりですが、その進捗管理につきまして、引き続き市民委員会で行っていくことを考えており、委員の皆様には、毎年度実施する市民を対象とした「市民実感アンケート調査」の結果を踏まえ、毎年度、効果検証を行っていただき、各政策が着実に実行できるようPDCAサイクルによる進捗管理を行うこととを考えております。

次の7ページに移りまして、参考までに「第7次八戸市総合計画と次期総合計画の違い」でございますが、基本構想には、7次総合計画の行動指針に変わり、個人の理念を入れることが策定委員会で議論されており、また、基本計画については、4つの柱と8つの政策を位置付ける予定でございます。審議状況については、市ホームページに掲載しております。

次のページに、現在検討しております基本計画の4つの柱と8つの政策の案を記載しておりますのでご覧ください。こちらは現在調整中となっておりますが、各政策の考え方に基づく次年度の取組に関して、委員の皆様から意見をいただくことを予定しております。

続いて、9 ページ目の「はちのへ創生総合戦略の概要」について簡単にご説明いたします。総合戦略とは、まち・ひと・しごと創生法に基づく法定計画になっております。計画期間は、令和7～11年度の5年間としております。進行管理の方法といたしまして、数値目標や重要業績評価（KPI）の達成度により、市民委員会で毎年度効果検証を実施していただいているものです。

次の10 ページをご覧ください。こちらは、「はちのへ創生総合戦略」の概要となります。はちのへ創生総合戦略では、「まち」「ひと」「しごと」の好循環を図るという考えのもと、より分かりやすく施策を展開していくため、3つの基本目標を設定しております。

基本目標1では「八戸が好きになる、未来を創る「ひと」を育てる」としており、「①次代を拓く人を育む」、「②選ばれる「まち」をつくる」、「③地元とのつながりの維持・拡大」の3つの展

開する施策を位置付けております。

続いて、基本目標2では、「八戸で働きたくなる、魅力的な「しごと」をつくる」としており、「①地域の活力を生むしごとの基盤強化」、「②しごとと人をつなげる」、「③しごとの場や機会を創出する」の3つの展開する施策を位置付けております。

基本目標3では、「八戸に住み続けたいとなる、共に生きる「まち」をつくる」としており、「①生き生きと自分らしく暮らせる環境づくり」、「②安心して子どもを産み育てられる環境の整備」、「③快適な生活環境の維持」、「④地域の安心・安全の確立」の4つの展開する施策を位置付けております。

次の11ページから13ページは、各基本目標の数値目標とKPIのほか、展開する施策に紐づく主な個別事業を示しております。この部分につきましては、この場での説明は省略いたしますので、後ほど目を通していただきますようお願いいたします。以上で、総合戦略に関する説明を終了いたします。

最後のページをご覧ください。まとめになりますが「⑨会議の運営方法」ということで案件ごとの審議の進め方を記載しております。まずは、第二世代交付金の効果検証ということで、交付金を活用した各事業の効果について、実施内容やKPIの達成状況を確認いただき、御審議いただくものになっております。

続いて、次期総合計画に関する審議では、基本計画の施策の方向性に紐づく既存事業を確認いただき、市が取り組む次年度事業について、配慮すべき視点や着手したほうが良い取組の方向性などの御意見をいただく予定としております。

最後に、総合戦略に関する審議では、数値目標やKPIの動向を確認いただき、御審議いただくものになっております。

以上、資料3に関する事務局からの説明になります。

○堤委員長

ありがとうございました。ただいま説明いただきましたけれども、今年度は昨年度の半分程度のボリュームになりまして、資料4ページにある通り、4回開催ということで審議をいただくことになります。

ただいまの説明について、御意見・御質問はございませんか。

今回はデジ田から名前が変わった第二世代の交付金の審議ということで、意見はないようですので、会議の運営方法につきましては事務局（案）のとおりしたいと思います。

○堤委員長

本日の審議案件については以上となります。

その他、事務局より何かございましたらお願いします。

○事務局（宮崎主査）

事務局から、第2回委員会の開催について御案内いたします。次回は7月30日（木）午後2時から、八戸市庁内で開催し、「第二世代交付金の効果検証」の審議を行っていただく予定です。

後日、開催案内の文書と出欠連絡票を送付いたしますので、事務局へ御提出くださるようお願いいたします。

○堤委員長

ありがとうございました。ただいま事務局から次回の開催日程について連絡がありましたが、

次回は「第二世代交付金の効果検証」に関する審議を進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。他になければこれで終了といたします。司会の方へ進行をお返しいたします。

【5. 閉会】

○司会（番沢 GL）

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「令和8年度第1回八戸市総合計画等推進市民委員会」を終了いたします。

本日はどうもありがとうございました。